

1. PD と外径の確認

- ・レンズは球面レンズをおすすめします。
※フレームカーブが4カーブでヤゲンカーブが浅いとレンズが入れ難くなるため
- ・フレームサイズが大きい場合は、特にレンズ径が足りるか確認してください。



2. デモレンズを外す

- ・シリコンフードを外してください。
- ・両サイド外側にあるレンズ止めネジ **2本** をリムが外れるまでゆるめ、レンズを外します。

※ネジの上部パーツは、代替商品がありませんので、紛失しないようご注意ください。



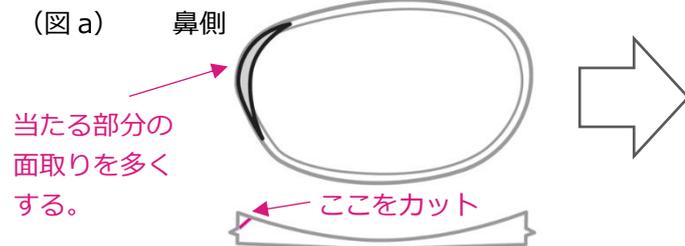
3. レンズの切削加工

- ・玉形のトレースはデモレンズで行ってください。
- ・切削モードは【メタル】に設定をして加工してください。

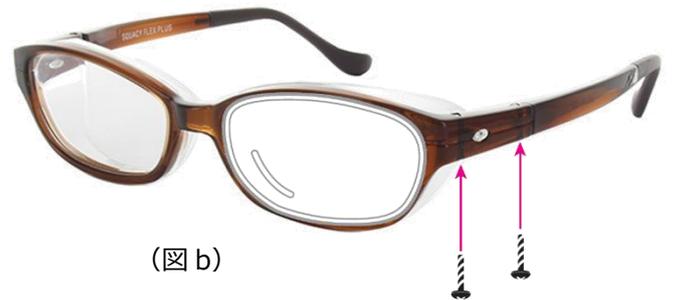
4. レンズをはめ込む

- ・度が強いレンズをはめた時に鼻側（内側リム）があたる場合は、その部分の面取りを多めにしてください。（図 a）
- ・メタルモードで通常加工したレンズをはめ込み、両サイド外側にあるレンズ止めネジ **2本** をしめます。（図 b）

※プラスレンズは、径指定をすると薄くできます。



当たる部分の面取りを多くする。



5. シリコンフードを装着する

- ・レンズにシリコンフードが当たり、きれいに装着できない場合は、その部分の面取りを多めにしてください。

6. ご注意事項

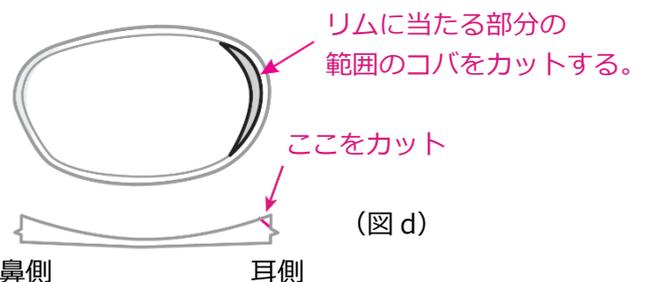
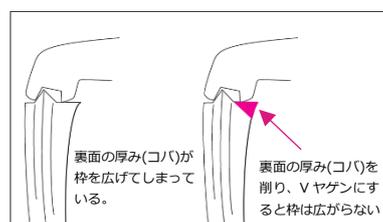
(図 c)



メタルモードで削った後、枠入れするとネジが締まらないことがあります。

- ・度数に関係なくレンズのレイアウトにより、鼻側はもとより「耳側コバ」もリムにあたり、ネジが締め難くなる場合があります。
この場合、安易にレンズの仕上げりサイズを再度切削して小さくしてしまい、緩くなってしまいますので行わないでください。（図 c）

- ・レンズ耳側裏面コバ（段ヤゲン）をVヤゲンのように手摺りして削ってください。無理なく収まります。（図 d）



ご注意

度付き対応を推奨しているのはスカッシーフレックスシリーズのみです。またレンズ交換すると、くもり止め機能は失われますのでご注意ください。



名古屋眼鏡株式会社